

教員推薦図書 2022年9月

推薦教員	子ども学科 准教授 近藤 清華 先生	【推薦コメント】 小説を読むのは好きですか？登場人物の気持ちを想像しながら、また自分だったらどうだろうと考えながらページをすすめる人も多いことでしょう。この「八日目の蝉」は、第二回中央公論文芸賞受賞作です。ドラマ化、映画化されているため、知っている人も多いことと思います。「母性」をテーマにした作品です。学生のみなさんは、この主人公の女性をどう考えるでしょう。赤ちゃんを誘拐した女性の3年半の逃亡劇が描かれています。なぜ、誘拐したのか、その背景となることにも目をむけて欲しいと思います。 また、誘拐された子どもが大人になってからの葛藤も描かれています。そして、逃亡中の母と子の生活から、子どもを守りたいと思う気持ち、幸せに暮らしたいという願い、さらに、食えること、着ること、住まうこと等、普段、私たちが何気なく暮らしている日常を考えさせられる部分もあります。 小説を読むことは、自分の世界を広げてくれます。学生のみなさんは、これから多くの人と関わりながら成長していくと思います。その中には、誰かと共に過ごす生活もあるでしょう。この「八日目の蝉」は、子どもを愛することや、自分らしく生きること、子どもが育つ環境などを考えるきっかけになるかもしれません。
書名	八月の蝉	
著者名	角田 光代 著	
出版社	中央公論新社	
請求記号	913.6 / Kok	
資料ID	901099831	